

き出してくれました。

阿部先生は、妻にも同様に尋ねました。妻が答える様子を見ながら、考えました。妻にどう生きてほしいか、娘にどんな人生を送ってほしいのか、と。

妻が将来の家計に不安を感じていたことも、その時初めて知りました。いつも二人でいろいろ話をしていたけれど、気づきませんでした。いま思えば、あえて気づかないように、見ないようにしていたのかもしれない。

そして渡された「家計セット」。最強です。「これ、家計セットに書いたら、阿部先生に無駄遣いと思われちゃうよなー」と、心にブレーキがかかること、しばしばです。でも、それだけではないのです。家計セットに記入し終えて、並んだ数字を眺めて考えるのです。これにお金を使っているということは、このとき、これが大切だ、必要だ、と思ったんだなー。それはつまり、そういう生き方をしたい、ということか。でも本当にそうかな。そんな生き方をしたいと思っているかな。

人生との向き合い方は、いろいろあるでしょう。お金に向き合うことも、そのひとつなのだと実感します。

家計セットの恩恵をもうひとつ。お金に向き合い、妻と娘の将来を考えていたら、人間ドックで指摘されたのにほったらかしにしていた健康面が気になってきました。食に気を配り、体のメンテナンスを心がけ、丁寧に暮らす。各種数値が、ぐんと改善しました。将来の医療費の節約につながっているはずです。生命保険の保険料も安くなるかもしれません。元気であれば、お酒もライブもゴルフも楽しめる。いいことづくめではないですか。

阿部先生の事務所のWEBサイトを拝見しました。「女性のための家計とこころのホームドクター」とありました。いえいえ、女性に限らず。そして、「家計とこころ」ばかりでなく、まさに「カラダのホームドクター」になってくださっていること、深く感謝申し上げます。